2018年（平成30年）
5月29日
（第三種郵便物認可 昭和23年4月15日）
（毎週火曜日発行）

第3290号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京支局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

今号の特集

▷イズミック
盛田社長インタビュー ⑤面
▷中京地区
有力卸特集 ⑥～⑨面

tabete
国分グループ本社株式会社
http://www.kokubu.co.jp/

明治HD 中期経営計画発表

コア事業の優位性を強化

明治ホールディングスは5月17日に「2020中期経営計画説明会」を都内で開催、松尾正彦社長らが概要を説明した。

前中期経営計画『STEP UP 17』最終年度となった17年度の取組みについて松尾社長は「投資は順調に進み1株あたりの配当も増加したが、海外売上高は目標に届かなかった」と総括。新たに策定した『2026ビジョン』は「〝Beyond meiji〟をスローガンに、現状に甘んじることなく課題を見つけ、殻を破り成長することを目指す。重点方針として①コア事業での圧倒的優位性の獲得②海外市場での成長基盤の確立③健康価値領域での新たな挑戦④社会課題への貢献に取り組む」と述べ、各事業のビジョンを「国内食品事業はヨーグルト・チョコレート・栄養食品のコア領域で経営資源を積極投下しさらに拡大。チーズ・業務用商品・フローズンデザートなど成長領域は新たな市場創造と将来的なトップシェアを目指し、次の『コア』領域へと成長させる。牛乳・調理食品・グループ会社調理食品など改革領域は独自価値の追求と構造改革による収益改善を図る。黒字化を果たした海外食品事業は中国・東南アジア・米国を重点エリアに位置付け、当社ならではの商品を軸に展開し飛躍的な成長を目指す」と説明。また、「薬品事業は営業利益成長率を年平均9％台、26年度海外売上高比率30％以上を目標とする」と述べた。

第1ステージとなる20年までの中期経営計画を「①コア事業での高シェア・高収益の実現②海外市場での成長基盤の確立に向けた積極的な事業拡大③健康を軸とした新たな価値領域での仕掛け④構造改革の断続的な実行と個別事業課題の克服⑤経営基盤の進化とCSRの推進の5つの方針に重点的に取り組み、20年の経営目標として売上高一兆三五〇〇億円、営業利益一二五〇億円、海外売上高一四二〇億円、海外営業利益九五億円を目指す。また3年間で約四四〇〇億円の営業キャッシュ・フローを創出し、約三三〇〇億円の設備投資や安定的な株主還元に活用する」と語った。

明治HDの新社長に川村氏

明治ホールディングスの代表取締役社長に川村和夫氏（現取締役兼明治Meiji Seikaファルマ）の事業会社が発足し7年が経過した。売上高や利益で一定の成果がなされたが、食品事業について、国内の成長テンポに比べ海外の展開が遅れている。中国、アセアン、米国とした展開エリアで事業テンポを上げていかなければならない。

「meiji」ブランドを全面に出し、グローバルブランドとして早期に根付かせることも大きな使命となる。これまで㈱明治の社長としてワンカンパニー化、ワンチーム化を掲げ、1つの会社として成長を追求してきた。今後は食品と医薬品とした異なった事業領域を持つ企業集団として、強みを発揮していきたい。

松田克也氏（現明治取締役専務執行役員）が就く。

5月11日に都内で行われた会見で、明治ホールディングスの新社長に内定した川村氏は次の通り語った。

川村次期社長 11年の事業再編を経て、食品（明治）、医薬品（Meiji）、国内の成長テンポに比べ海外の展開が遅れている。中国、アセアン、米国とした展開エリアで事業テンポを上げていかなければならない。

「meiji」ブランドを全面に出し、グローバルブランドとして早期に根付かせることも大きな使命となる。これまで㈱明治の社長としてワンカンパニー化、ワンチーム化を掲げ、1つの会社として成長を追求してきた。今後は食品と医薬品とした異なった事業領域を持つ企業集団として、強みを発揮していきたい。

サントリー、アサヒ 好調RTDの増産を発表

本格需要シーズンを前に主要各社は缶チューハイなど好調なRTD商品の増産を発表した。

サントリースピリッツは好調なRTDの主要ブランドを増産。「－196℃ストロングゼロ」は、アルコール度数高めの飲み応えや果実味が食事に合う缶チューハイとして支持を獲得し1～4月は前年同期比9％と好調で、7～8月は生産計画を15％増産。「ほろよい」はアルコール度数3％のやさしい味わいや飲みやすさ、沢尻エリカのコミュニケーション施策などが好評で1～4月の販売数量は5％増で推移。7月には夏期限定の〈冷やしパイン〉〈塩すいか〉を新発売するなど、7～8月の生産計画は9％増。「明日のサワー」は印象的な笑顔のイラストやすっきりした味わいなどが好評で1～4月の販売は223％増と大幅増。7月に〈明日のライチサワー〉を新発売するなど、7～8月は619％の増産を行う。なお、この3ブランドの7～8月の生産計画は15％増の1509万ケース。

アサヒビールは今年3月発売のRTD「贅沢しぼり」販売数量が4月末時点で年間目標の5割となる100万箱を突破。5月の生産計画を当初計画に対し6割増引き上げ、年間目標を5割増の300万箱に上方修正した。4月中旬には桃果汁の追加空輸を実施、〈レモン〉フレーバーのみを生産していたアサヒ飲料明石工場で4月以降、〈グレープフルーツ〉〈桃〉フレーバーの生産も開始。今後も盤石な生産体制を目指す。

アサヒ飲料「ウィルキンソン」増産

アサヒ飲料は炭酸水売上No.1ブランド「ウィルキンソン」の今年1～4月の販売数量が〝強炭酸〟訴求の広告販促活動や若年層向けの新商品「同ドライ」の新発売など飲用機会の拡大策が奏功するなど、前年同期比16％増で推移。明石工場をはじめとした製造工場の5月の生産数量を4割増に引き上げた。

宝ホールディングス 新社長、木村睦氏に内定

宝ホールディングスの代表取締役社長に木村睦氏（現代表取締役副社長）が6月28日付で就任する。現代表取締役社長の柿本敏男氏は代表取締役会長に就く。

木村氏の略歴
▽1963年2月3日生まれ 京都府出身▽京都大学経済学部卒▽85年寶酒造（現宝ホールディングス）入社▽02年タカラバイオ取締役財務部長▽04年常務取締役▽07年専務取締役▽09年代表取締役副社長▽14年宝ホールディングス取締役、宝酒造専務取締役▽16年宝ホールディングス代表取締役副社長▽17年宝酒造インターナショナル代表取締役社長

イオンリテール東海カンパニー 北氏が支社長に就任

イオンリテール東海カンパニー支社長に北佳史常務執行役員が5月18日付で就任した。前支社長の辻晴芳専務執行役員はイオンペット㈱代表取締役社長に就いた。

北氏の略歴
▽1958年3月27日生まれ 京都府出身▽80年ジャスコ㈱（現イオン㈱）入社▽97年ジャスコつくしが丘店長▽10年イオンリテール㈱西日本カンパニー営業企画部長▽11年中四国カンパニー営業企画部長▽同年愛媛高知事業部長▽12年四国事業部長▽17年管理担当付▽同年近畿・北陸カンパニー経営企画部長▽18年近畿カンパニー経営企画部長

ポッカサッポロ カップ入りスープ製造工場を新設

ポッカサッポロフード&ビバレッジは、サッポロビール仙台工場内に同社仙台工場（仮称）を新設しカップ入りスープの製造設備、粉末スープ顆粒原料の造粒設備を新たに設置する。生産能力は年間160万ケース。投資額は約二六億円。18年6月に着工し、19年8月の竣工・稼動開始を予定。

同社は80年に缶入りスープを発売し、81年に粉末インスタントスープでスープ市場に本格参入し、スープ事業の拡大に努め、「じっくりコトコト」などのブランドを展開し多くの支持を獲得。近年の同社のスープ商品がカップ入りスープを中心に好調に推移していることから、さらに積極的に事業展開していくことを目指しカップ入りスープ製造工場を新設する。

街角経済

働く環境の変化

勤めた企業に一筋に働き通すことが全て正解であった時代からみれば、「副業」が認められ、「起業」が奨励され、「転職」の誘いが多くある最近は、驚く変化の労働環境である。

しかし、副業を考えるにも起業に取り組むにも転職するにも、新しい挑戦でもあるから他人とは違う特性が求められる。それは今の仕事のなかで自己研鑽に務めることから始まる。

この努力が積み重なって社外に幅広い人間関係を創ったり、特別な技術を身につけることになる。また、転職話も舞い込んでくる。

労働時間は短くなっている。残業過多や休日出勤は好ましくない時代であるから、働く人の自由時間は増えている。これは健康増進や家族との交流の強化、地域活動に参加することなどに用いることが望ましいが――。

もっとも健全に繁栄している企業ならば、「生涯同じ企業」に働くことは不安のない暮らしに結びついている幸せもある。

（大橋隆士）

食と地域に特化して社会と
共生できる企業を目指します。
総合食品商社
株式会社 中部メイカン
代表取締役社長 小寺 仁康
本 社／大垣市大井4丁目25番地の5
本 部／岐阜県岐阜市柳津町流通センター1丁目1の4
TEL（058）279-3231（代表） FAX（058）279-3120
中部メイカングループ
株式会社 静岡メイカン 西濃酒類販売 株式会社
株式会社 磯 美 人 CMDフーズ 株式会社

マルヤマ
伝～統 おいしいお付き合い
でーんと

マルヤマ おつまみセット
乾物・総合食品商社
西山商事株式会社

マルヤマ 田吾作セット
マルヤマ印製造元
株式会社 まるやま
〒454-8533 名古屋市中川区富田町大字千音寺16割 TEL.052-431-8451㈹